

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年8月21日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 10 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	2号機	取水設備スクリーン点検用門型クレーンにおいて、ガーター歩廊部に腐食が認められたため、当該腐食部を補修。	D	
2	2号機	原子炉建屋天井クレーン横行用電動機点検時、軸及びカップリングに傷(すり傷状)が認められたため、対応検討。	D	
3	3号機	原子炉補機冷却系放射線モニタにおいて、軽故障警報が発生したため、原因を調査。(記録計及び指示計の値に異常なし)	D	
4	4号機	非常用ディーゼル発電設備(B)排気ガス温度計の点検時、同検出器(4個)の絶縁抵抗値に管理値外れが認められたため、対応検討。	D	
5	4号機	復水ポンプ出口余剰水取出弁及び同止め弁の開閉試験時、操作スイッチの動作不良(動きが固い)が認められたため、当該スイッチを点検修理。	D	
6	4号機	復水ポンプ(C)入口弁の開閉試験時、操作スイッチの動作不良(動きが固い)が認められたため、当該スイッチを点検修理。	D	
7	3.4号廃棄物処理設備	高電導度廃液系収集ポンプ(B)点検時、同ポンプのインペラーとウエアリングの間に管理値外れが認められたため、対応検討。	D	
8	3.4号廃棄物処理設備	高電導度廃液系収集ポンプ(B)点検時、軸とカップリングの嵌め合い値に管理値外れが認められたため、対応検討。	D	
9	3.4号廃棄物処理設備	廃棄物処理制御室冷凍機(A)圧縮機(No.1)が停止する事象が認められ、冷媒膨張弁の動作不良が考えられるため、当該膨張弁を点検。	D	
10	3.4号廃棄物処理設備	廃棄物処理制御室冷凍機(B)圧縮機(No.3)が停止する事象が認められ、冷媒膨張弁の動作不良が考えられるため、当該膨張弁を点検。	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画外の原子炉の停止</li> <li>・ 発電所外への放射性物質の漏えい</li> <li>・ 非常用炉心冷却系の作動</li> <li>・ 火災の発生 など</li> </ul>
区分	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障</li> <li>* 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など</li> </ul> </li> <li>・ 原子炉への異物の混入 など</li> </ul>
区分	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点から速やかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化</li> <li>・ 原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障</li> <li>・ 原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい</li> <li>・ 圧力抑制室等への異物の混入</li> <li>・ 原子力発電設備に係る業務における人の障害 など</li> </ul>
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常小修理 など</li> </ul>

【原子力発電所における不適合事象の是正管理】

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講ずることとしております。

\* 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。

不適合管理グレード分け(不適合管理委員会にて決定)

- A s : 法令、安全協定に基づく報告事象
- : プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
- : 定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた事象
- : 運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

(お問い合わせ)

福島第二原子力発電所・広報部・行政広報グループ  
電 話 0240-30-7802